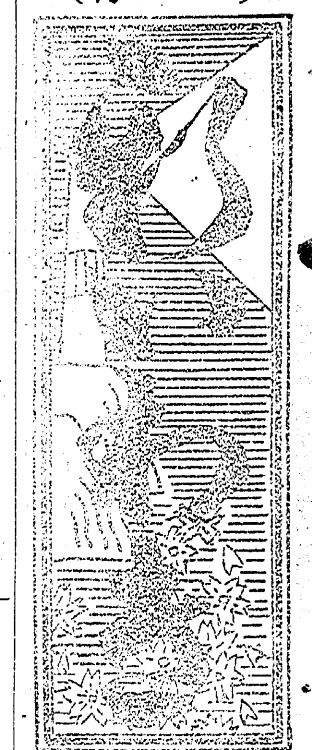
(夕　刊)



休日曜大祭日　一ヶ月 二十五錢　一部 税 五錢 二錢　廣告料 一行 四〇錢 掲載所指定 廿錢増　發行兼編輯人 印刷人 半谷政喜　發行所 福島縣平町四丁目五三番地 會川活版所

平に五萬圓の低資
來月二日から貸付
百六十一名に行き渡る最高額が一千圓最低五十圓まで

平町信用組合を經て分貸される五萬圓の中商工資は各申込者共に借入を待つてゐるが愈よ來る廿九日現金交付される組合では書類整理を急いで十月二日から

最初の 借入申込順により七日迄に全部貸付ける筈で右貸付決定は百七十四名の申込者から資金の用途が趣旨に添はないもの十三名を除く百六十一名に

均てんすることになつた其貸付額別と人員を上ぐれば左記の如く尚ほ償還方法は百圓に付て初年度一日十五錢つゝ二年目に於て十二錢、三年目に十一錢の割合であると。

△千圓二名、六百圓十三名、五百圓十五名、四百圓十六名、三百五十圓一名、三百圓三十四名二百五十圓一名、二百圓三十九名、百五十圓十一名、百圓二十四名、五十圓一名 (以上)

前年度工事の失敗で
大切をとる基礎調査
平町新川護岸の改修工事
五年度の續工一萬二百圓

平町外二ヶ村の水害豫防組合に於ける新川護岸五年度の繼續工事は一萬百九十九圓の豫算で月見橋側の前年度工事コンクリートの築堤に續いて

片側の 長さ八間つゞき堤の移りを同じくコンクリートの大築堤となし主堤は兩側各百十間を同年度に於て改修の筈であるが右コンクリート工事は相當の大ものなので基礎

不充分 であつた前回工事の失敗に問題を起した苦い經驗から最近平土木監督所同所長若川技手及び組合の神長倉技手並に遠藤平町助役、組合議員吉田寅之助(平)伊藤淺之助(飯野)管波忠治(內郷)の

數氏立 會四十七貫二百目のハンマーで末口五寸長さ十八尺の松杭を打込んだ成績左記の如く斷じて失敗を再びせない

基礎を 施すことになつた同工事は遲くも來月中に補助指令が來るらしく直ちに着工の豫定であると。

△試驗成績現在築堤の基礎の下端から九尺を打下した時の支重力四百七十二貫、十二尺に於て六百六十三貫、十五尺で七百五十八貫、十八尺に於て八百八十五貫(試杭三本の沈下殆んど同一。

石城青訓聯合會
役員決定

石城青年訓練所聯合會は既報の如く各主事及び主導主任の總會で滿場一致設立を可決し役員詮衡中であつたが左記の如く決定した。

△會長曾我直治、副會長吉田庄太郎、仲村辰四郎評議員二階堂誠一、西山直三郎、石橋儀作、菊地正一、八卷庖太郎、山崎清三、藤田榮助、赤津一榊田多博、事務員坂內伊貞、鈴木廣、金澤潤、顧問山內武夫、四家久米治、伏見彥衞、橋本文藏、八谷弘 (以上)

平水道工事
準備町會
卅日午後一時

平町に於ける水道擴張工事準備は順調なる進捗を見せてゐるが來る三十日午後一時右に關する鐵管、セメント其他所要材料の購入決定に就て町會を招集すると。

國調のため
好思ひ付
小川村に於て

石城郡小川村では來十月一日の國勢調査に於ける申告の方法を一般に確知させるため調査要項を平易に認めた印刷物を此程村內各戶に配付した。

橋本校長
の觀迎會

縣立磐中の新任校長橋本文壽氏を迎へた同校職員並に同窓會では今廿七日午後六時から同校長の歡迎會を催す筈であるが約五十名の出席がある模樣であると。

湯本町にも
野菜市場
長瀨氏の計畫

石城郡湯本町では炭礦方面の需要を加へて野菜の消費者が相當多額に上つてゐるが目下平町に計畫されてゐる野菜市場に倣へ同町天王崎四五野菜商長瀨總太郎氏が市場設置に奔走中であると。

出生と死亡

△出生、平町字田町六七篠原松太郎九男喜美男九月二十二日午後二時 平町字月見町二五根本一馬二女美代子九月二十日午後九時四十分

△死亡、本籍石城郡草野村平町字三丁目三八忠吾父渡邊忠次郎(五九)九月二十六日午前一時三十分

所得委員
の有權者 (二)

熊谷保高　平松武　平松茂　諸橋久太郎　大竹芳之助　諸橋イセ　星野清吉　馬目房次郎　馬目良之助　片寄小彌太　馬目敬太郎　片寄文四郎　酒井亥之次郎　山崎政治　遠藤忠三郎　植村喜一　石川サク(五丁目)荒川淺次郎　佐藤榮吉　佐藤榮治　齋藤繁藏　小野寺金雄　竹田儀平(立町)渡邊留三郎(正月町)岡田千藏　金成忠義　高田清一郎　武子國太郎　草野七五三之助　荒川仙次郎　青木捨吉(鎌田)丹野英治(手掴)酒井兼作(彌宜町)佐藤一(管の澤)佐藤善次郎　山崎與三郎　山崎清三　水野虎三郎　水野リク　早川重治　久保木林之助　大谷要次郎　清野寅吉(古鍛冶町)山部正男(揚土)山崎サト　馬目玉彌　青天目源一郎　鈴木清太郎　草野金太郎　西脇健次郎　根本吉太郎　平田武　阿部章　平澤德吉　織田末松　柳下元吉　關內スミ　高木信太郎　水竹柳助　水野晃(紺屋町)堀島辰次郎　江口忠一　堀喜一　堀功　堀トク　松本源吾　松本健　笹生仁一　佐々木健一郎　千葉彥治　前澤文太郎　青木保太郎　阿部政右衞門　高橋勝吉　高田二果　草野留直　門馬淺次郎　瀬尾喜之進　小野鶴松　廣木正一(才槌小路)横山萬藏　鶯チエ　山口ヨシ　野崎滿藏　菊地きん　鈴木重助　金子直次　石崎幸一　比佐三郎　猪狩菊三郎　水口ハマ　清野音吉　清野音吉　鈴木千代吉　鈴木信雄　壺玉モト　酒井清　漆畑元吉　安齋徹　安齋勝美　森本盛一　大橋秀冬　吉田芳太郎　市原卯太郎　古川清吉　鈴木寅次郎　萩原申八　柴田ティ　五十嵐小平　滑川敏之助　高崎松三　水口豊次郎　金子直祐　椋机正喜　山野邊留治　古川四郎　駒場酉四郎　室橋玉吉　平澤キクヱ　島田克　中島孟　篠原松太郎　高野熊三　大塚鳳三郎　佐藤榮一　眞木隆四郎　大久保貞吉　森川泰一郎(田町)川又正二　吉田禮次郎　河田梅吉　伏見彥衞　伏見文彥　三浦卯之助　金子定次　鈴木末吉　鈴木勇吉　鈴木宗吉　清水いし　佐藤菊治　志賀千鶴　柳原いち(白銀)多田井笑次郎　倉谷清次郎　石井重太郎　石澤茂(大工町)佐々木龍若　佐々木綱記　梶原寅次　木村寅三(四軒町)小野金太郎　小野五郎　佐藤清　佐藤キミ(柳町)山崎宜吉　武田清次郎　近藤廣記　田村彥四郎　青沼鉾太郎　青沼淡夫　八谷弘　山浦采女(舊城跡)白石英夫　中谷爲吉(六間門)山崎光雄　中村梅三郎　小松茂十　關口絹(杉平)只野清　中島十藏(櫻町)大河原金之助　生田恭藏　柴山爲次(胡摩澤)鍋田三重　吉田利吉(八幡小路)五來要八　遠藤平太　遠藤美惠　永山和平　古田部春吉　青木榮吉　荒川恒次郎(久保町)山本良作(七軒町)合計三四四八

農村に奬める
家畜保險 (八)

畜保とは一体どんなものか

畜保の組織
組合員の資格

ね組合の區域內に牛馬を所有してゐるものが總て資格者である。例へば石城に住んで居るものが、双葉に馬を所有し他に託して管理させてゐる樣なときは双葉の組合に加入して保險につければよろしい、保險組合には所有者自らが加入するので管理者の名義では出來ないことになつてゐる、それから組合の名稱は家畜保險組合たることを明らかに示すこととそれに違反することは法律上許されないのである、又組合の住所は事務所の所在地に置き、取扱の都合上事務所を幾つも置くやうな場合は主たる事務所の所在地に置くことになつてゐる。

設立の手續

畜保組合設立の手續は其地區內に牛馬を所有する七人以上が組合員となつて之れを發起し定款と事務計畫を作りそれを添へて地方長官に認可申請をなし。認可されたならば設立同意者を募集し其同意者が事業計畫書に定めた豫定の數に滿ちた時、發起人から創立總會を招集するのである。この總會で將來組合員となる人々が定款を議定し理事や監事を選任して活動の基礎を作るのである、此總會が濟んだならば

農林大臣に 組合設立の認可を申請するのである。但し此の申請は地方長官から發起の認可があつて後六ヶ月以內でなければならぬことになつてゐる、大臣の認可を受けて愈よ組合が成立されたならば事務所の所在地に組合設立の登記をする、此の登記がすむと、組合は第三者に對抗が出來る、茲に初めて組合設立の手續が完成するのである。

大衆民意

參考資料

而して其私の事業と申しますのは淺野總一郎氏の創立たる、磐城炭鑛株式會社の高坂坑に、國力充實、勤勞者を收容して夫妻協力合宿經營の傍ら、思想問題、勞働問題、勞働者敎育問題等の研究に從事して居るのでありますが、殊に炭鑛勞働者の子弟の敎育に就いては絶對的繼續主義敎育を要望する責任分擔主義敎育を要望することを痛切に感じて居るものであります。

次に二十余年前に別れを告げた、鄕里杉田に於ては兩親は既に歿し、維新前は一村の人別を調べ、明治時代には母が針子敎育の敎場であつた家、私が一人關の務」として一本つゞ草を拔いた庭は、今も其儘に殘つて居り、私の實父の筆子であつた甲斐根老夫婦を留守番に置き、卓子、食器、食器等一切を整へておいて村人の使用に供し、或時は演說會場となり、或時は懇親宴會場ともなるのでありまして、鄕里にある敎子、鈴木卯平治、渡邊武治、渡邊倉治等の諸君は既に村の中堅人物となり、歸鄕する毎に訪ねて來ては昔話りに一夜を明はして居ります、又同君等は私が一昨年時尾鑛山會社敬神の精神を鼓吹するらの一助とも思つて創祖の遺德にかんがみ稻荷神社の境内を擴張して、天照大神、神武天皇、明治天皇、全國一百の官國幣社を合祀して國本神社と稱し其の境内を運動場として開放する計畫を立つるや（既に半沼區一郎氏、鈴木喜三郎氏等よりも寄進あり）

女ましりの

花岩博

石城郡好間村の南町田大友まさ方に於て廿七日午前零時半頃前記前記まさ（五六）外左記六名車座となつて金錢賭け賭博開帳中平警員に踏込まれ二名逃走他は全部逮捕さる。

北岡才一郎（三七）長瀨峰吉（三五）野良德（四〇）若松定之助（四四）熊谷藤七（五一）渡邊程一（三〇）

自動車事故

平町字田町磐城タクシー草野キミ方運轉手石城郡大野村下柳生西山一（二四）は去廿五日午前十一時半頃內郷村緩地內國道を進行中傍らを徒歩してゐた同村鬼ケ澤高宮飯場方坑夫鮮人春本由之助（三二）が突然進行直前を橫切らんとしたので之れを轢き倒し大腿部其他に全治一週間の負傷をさせた。

看護婦會
看護婦の求めに應じます
平看護婦會
電話三〇七番

驚異的の効果
婦人藥
美神丸
美神湯
坐藥
內服藥
婦人病に惱む人々に
一度の實驗を勸む
平町代理店 山野邊藥局
平五丁目

詰元 G.H.N スペイン
甘味葡萄酒
ゴルフポートワイン
¥1.10
御婦人の方には少しお水を加へて召し上ると一味風變りで良いです
西村屋藥舖（電話三番）

諸毒ドンの大妙藥
安流丸
平町五丁目 藤本藥舖
特約 山野邊藥局

外科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
院長 醫學士 高久忠
高久病院
平町・電話五一三番

ドンナ御帽子をお撰びになりますか
秋から冬へ
◎中折、鳥打、小供帽斷然ウルトラモダーンの眼もさめるような美しい品々が豊富に取揃ました

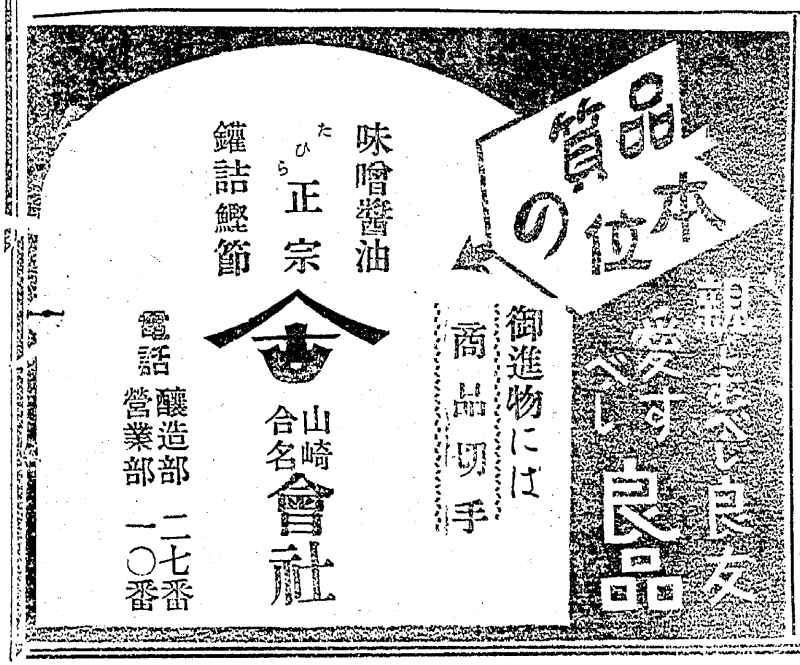
買よき店
モリタヤ
洋品店
平五丁目
電話358番

秋とサロン
サロンの黒ビール
天高く
氣朗かに
美味芳醇の
黒ビールを召せ
サロン
電話田町三五二番

内科 外科 小兒科 梅毒 淋病
平町 田町
市原醫院
電話一一四番

入院應需
紺屋町 平町
藤沼醫院
電話五〇七番

鶴印
特製最中
大鶴屋菓子舖
平城町 電話番



味噌醬油
鑵詰鰹節
正宗
山崎合名會社
醸造部 二七番
營業部 一〇番